

都市再生整備計画(第4回変更)

すみよし じょうとう
住吉・城東地区

とくしま とくしまし
徳島県 徳島市

平成22年3月

都市再生整備計画の目標及び計画期間

都道府県名	徳島県	市町村名	徳島市	地区名	住吉・城東地区	面積	195 ha
計画期間	平成 18 年度 ~ 平成 21 年度	交付期間	平成 18 年度 ~ 平成 21 年度				

目標

- 【大目標】多世代・価値観の多様な住民が交流できる安心・快適な公共空間を創出し、地域コミュニティの活性化と良好な生活環境の形成を図ると共に、災害時における防災機能の向上を図る。
 【目標1】公共施設整備により、市民交流の促進(当地区の地域コミュニティ再生を図り、活気のある子供達の声にあふれるまちづくりを目指す)
 【目標2】災害時における防災機能の向上を図り、被害を最小限に食い止める
 【目標3】商業活力を創出する環境づくり(商業地区のイメージアップ)

目標設定の根拠

まちづくりの経緯及び現況

住吉・城東地区は吉野川と大岡川に囲まれたデルタ地帯で、北部及び東部は低湿地のため開発が遅れていたが、この地区を東西に走る常三島沖洲線と南北に走る住吉末広線の2本の幹線道路建設等により、現在では、小・中・高校・大学、総合病院(市民病院)、特別養護老人ホーム、運動公園、金融機関、商店があり生活環境が整備されている地区となっている。

その一方、規制緩和や流通構造の変化及び消費者の価値観の多様化、また、コンビニエンスストアなどの出店やモータリゼーションの発展に伴う郊外型大型店の立地、さらには生活経済圏の広域化による地域間競争の激化などにより、道路が狭い旧来の住宅地では既存の商店が姿を消しつつある。また、この地区には魅力ある施設がない点をあげる市民も多い。新興住宅地の住民と従来からの住民との意識の違いが目立ってきており、アンケート結果においても、コミュニティセンターや公園の整備を望む声が多く、コミュニティセンターを核として魅力ある生活環境を再構築することが求められている。

なお、本地区の都市再生整備計画の策定にあたり、庁内の横断的(組織)会議である、「徳島市まちづくり推進検討会」を設置し計画策定を行っている。
 上位計画『第3次徳島市総合計画』および『徳島市都市計画の基本方針(都市計画マスタープラン)』の施策の方針とも整合していると共に、マスタープラン作成にあたり実施したアンケートの民意を反映したまちづくりに努めている。

課題

・この地区は、若年人口の減少および高齢者の増加を問題視している市民が多い。定住人口の増加を図り、「徳島市の未来を担う子供がいる」という思いを地域全体で共有することができるよう子供を生み、育てることに不安を感じる事のない環境を整備する必要がある。このことは、対象地区(渭東および渭北地区)のまちづくりに関するアンケート調査結果にも顕著に現れている。
 また、新しい時代に相応しい魅力ある地域社会を形成するためには、その原動力となる若年層の定住の促進が重要であることから、今後新しい周辺市街地の形成が予測される中で、道路網の改良や下水道、コミュニティの創出を図る必要がある。
 地区南部は従来からの商店や住宅地であったため、狭い道路が多いことに加え、北部・東部の新興住宅地においては、マンション居住者が多いことから、隣近所との付き合いも希薄となっており、高齢者が増加傾向にあり、重度の障害者の割合も徳島市全域の平均を上回っている地域でもあるため、南海大地震等の災害の発生時における被災者を最小限に食い止めるためには、コミュニティの再構築を図り、誰もが安心して暮らせるまちづくりを推進することが急務となっている。
 児童館を併設したコミュニティセンターを整備することにより、地域住民および教育機関、民間企業等のコミュニケーションの機会を増やすと同時に、小さい子供を持つ(または、これから子供を持つとする)世代の子育て支援を進めることで、定住促進を推進し、地域の活性化を図る。

将来ビジョン(中長期)

『第4次徳島市総合計画』において、当地区の整備方針は以下のような位置づけられている。

渭北・渭東(・沖洲地域)

- ・海岸や河川の水辺空間と広域幹線道路を生かしたまちづくりを進める。
- ・住宅・工業の混在する地区における細街路の整備や効果的な土地利用を進め、良好な市街地を形成する。
- ・海岸や河川周辺の景観づくりを含めた水辺空間の充実を図るとともに、地域の安全性を高める防災まちづくりを進める。

『徳島市都市計画の基本方針(都市計画マスタープラン)』において、地域のまちづくり方針は以下のような位置づけが与えられている。

渭北・渭東(・沖洲)地区のまちづくり構想

- ・既存住宅地では、細街路の整備を推進し、良好な住宅地を形成する他、適切な住宅開発を誘導する。
- ・公共施設では、下水処理場と公共下水道の整備、地区コミュニティセンターの整備、身近な広場・公園の再整備と新たな整備の推進、公共施設の防災機能の強化と広域避難路の確保を進める。

『徳島市地域防災計画』において、一般災害時及び地震災害時の避難所として、コミュニティセンターが位置づけられている。

目標を定量化する指標

指 標	単 位	定 義	目標と指標及び目標値の関連性	従前値		目標値	
					基準年度		目標年度
児童館の利用人数	人/日	児童館に来館した乳幼児と児童の人数	児童に健全な遊びを与えてその健康を増進し、情操を豊かにする。	0	平成17年度	60	平成21年度
コミュニティセンター施設の利用回数	回/月	コミュニティセンター施設を個人及び団体が利用した回数	コミュニティセンター施設の有効利用による住民間のコミュニティの再構築を図る。	0	平成17年度	130	平成21年度
避難所収容人員増加率	%	一般災害時及び地震災害時の非難所収容人員の増加率	災害時はコミュニティセンターを避難所として活用することで、防災機能の強化を図る。	100 (1,017人)	平成17年度	110 (1,117人)	平成21年度

都市再生整備計画の整備方針等

計画区域の整備方針	方針に合致する主要な事業
<ul style="list-style-type: none"> ・地域住民が集い、地域のコミュニティを創造する場としてのコミュニティセンターを建設する。 (なお、同施設は『徳島市地域防災計画』において避難所に位置づける。) ・児童及び乳幼児やその保護者がふれあえる場、交流できる場を提供するため、コミュニティセンターに併設する形で、児童館を整備する。 ・地域内に居住する高齢者から幼児・児童までの各世代が世代の垣根を超えて交流できる新たな事業を創設する。 ・地域に居住する留学生や外国人との交流による新たな国際交流事業の創設を検討する。 ・近隣にある徳島大学や地域内にある徳島商業高校、地元企業及びNPO法人等の市民活動団体との連携による産官学の協働事業を創設する。 ・排水不良区域の公共下水道を整備することにより、生活環境の向上を図ると共に通勤・通学者等の安全性を確保する。 	<ul style="list-style-type: none"> ■基幹事業 住吉・城東コミュニティセンター新築事業(高次都市施設 地域交流センター) □提案事業 住吉・城東児童館外構等整備事業(地域創造支援事業) □提案事業 下水道(地域創造支援事業) ○関連事業 世代間交流事業 ○関連事業 国際交流事業 ○関連事業 産官学協働事業
<ul style="list-style-type: none"> ・新市民病院開院に合わせ、病院の整備(外構・車両通行道・駐車場)及び、周辺のアクセス道路を整備し(国道11号線からの都市再生整備計画区域へのアクセスの改善)、周辺公共施設の整備改善による「医療福祉機能」の向上を図ると共に、災害時には、被害を最小限に食い止めることができるよう防災機能の強化を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> ■基幹事業 市道・北常三島3号線改良事業(道路) ■基幹事業 住吉・城東コミュニティセンター新築事業(高次都市施設 地域交流センター) □提案事業 下水道(地域創造支援事業) □提案事業 新市民病院外構等整備事業(地域創造支援事業) ○関連事業 新市民病院新築工事 ○関連事業 新市民病院新築工事(道路) ○関連事業 同報無線設備整備事業
<ul style="list-style-type: none"> ・魅力ある商店街づくりを推進し、市民の商店街への求心力および集客力を高めることで地域の活性化を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> ■基幹事業 商店街共同施設設置費補助(高質空間形成施設)

その他

□1. 整備計画区域の特徴について

- (1)東南海・南海地震が今後30年以内に50～60パーセントの確率で発生すると予測されるなか、徳島市では、地震や地震に伴う津波から市民の命を守るため、「守り抜く責任」を市政運営の基本理念に掲げ、災害危機管理体制の整備に努めている。
 - ・徳島市民病院新築工事の着手(平成20年1月開院予定、平成21年10月全面開院予定)
 - ・同報無線の整備(災害情報の伝達)
 - ・コミュニティセンター新築工事(災害時は避難場所として活用)

□2. コミュニティセンターの活用について

(1)世代間交流事業について

【事業目的】

地区に在住するお年寄りから子供たちが一緒になって様々な講座をコミュニティセンターの建物と駐車場を活用して実施し、さまざまな年齢層の人達が交流することによる地域の活性化を図る。

【事業概要】

- ① 昔の遊び体験講座…地元のお年寄りを指導者、徳島大学生や徳島商業高校生を補助者として、子供たちと一緒に昔の遊び道具を製作し、製作した道具を使った遊びを体験する。
- ② 伝統工芸体験講座…地場の産業である木工業や昔農閑期に製作していたわらざうりなどを地元の人達を指導者に、徳島大学生や徳島商業高校生を補助者として、子供たちに製作指導をすることにより、子供たちが伝統工芸を体験する。

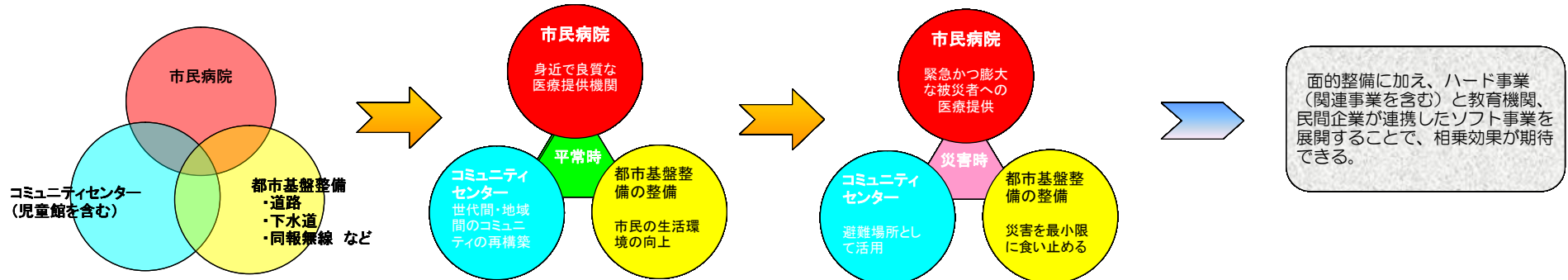
(2)国際交流事業について

【事業目的】

徳島大学で学ぶ留学生が増加してきて、その一部が住吉・城東地区でも居住しており、地区内で見かけることも多くなっている。留学生は日本とは違った文化・風習を持っており、彼らとの交流により世界の国々の言語、文化、風習等を生で体験することによって、地域に国際交流という新しい風を吹き込み、地域の活性化を図ることを目的とする。

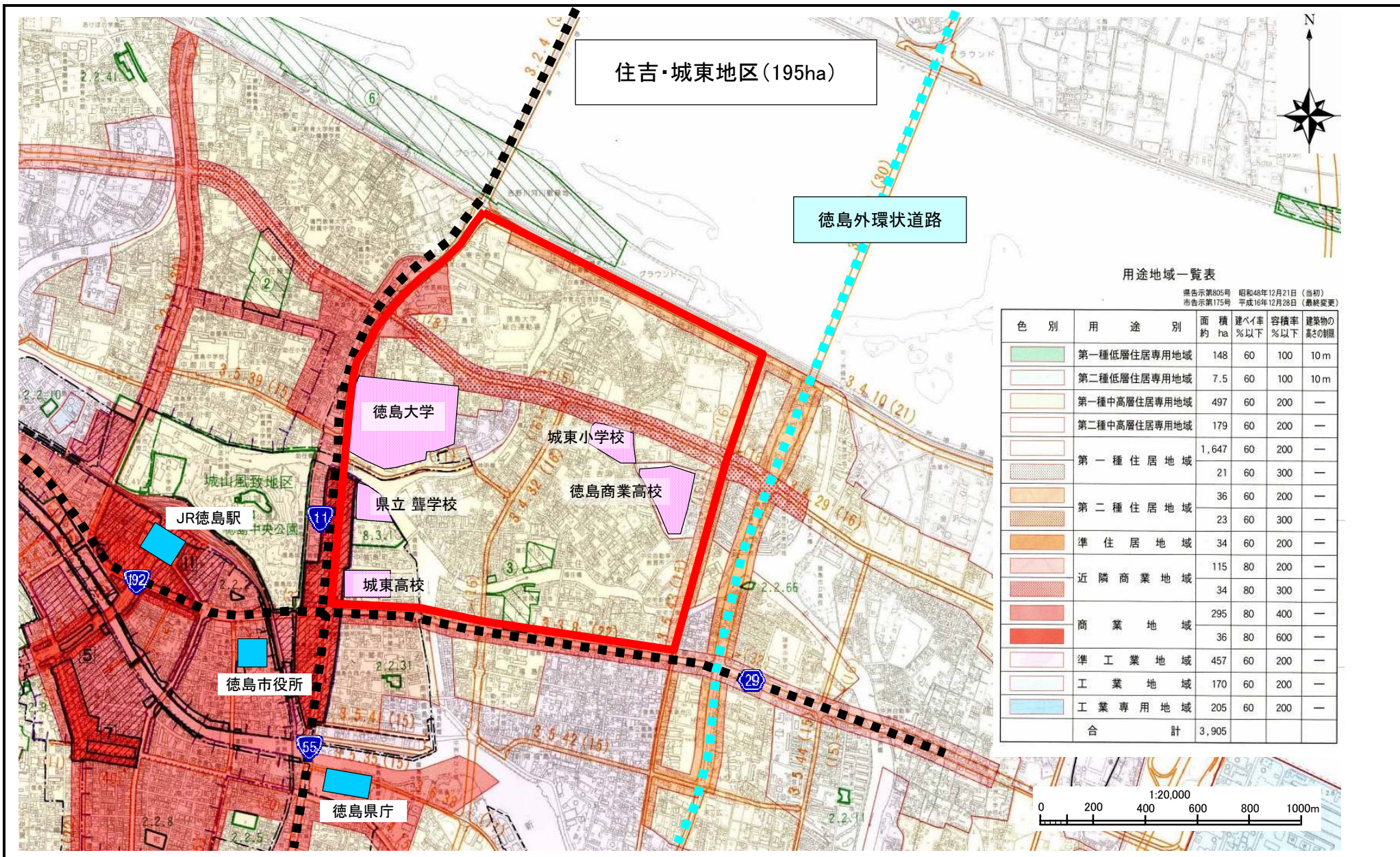
【事業概要】

- ①文化交流講座…城東小学校の総合学習の時間を利用して、留学生の出身国の文化・芸術・風習について小学生と一緒に勉強会や発表会を実施する。
- ②地元住民、徳島商業高校生及びNPO法人等の市民活動団体と留学生が一緒になって、日本の文化・芸術・風習や留学生の出身国の文化・芸術・風習を勉強及び発表する。



都市再生整備計画の区域

住吉・城東地区(徳島県徳島市)	面積 195 ha	区域 東吉野町2丁目(一部)・3丁目、北常三島町1丁目(一部)、北常三島町2丁目(一部)、北常三島町3丁目、中常三島町1~3丁目、南常三島町1丁目(一部)、南常三島町2~3丁目、住吉1丁目~住吉5丁目、住吉6丁目(一部)・中徳島町1~2丁目、徳島本町2丁目(一部)~徳島本町3丁目(一部)、福島1丁目(一部)~福島2丁目(一部)、安宅1丁目(一部)、城東町1丁目
-----------------	--------------	--



住吉・城東地区(徳島県徳島市) 整備方針概要図

目標	多世代・価値観の多様な住民が交流できる安心・快適な公共空間を創出し、地域コミュニティの活性化と良好な生活環境の形成を図ると共に、災害時における防災機能の向上を図る。	代表的な指標	児童館の利用人数 (人/日)	0 (H17年度) → 60 (H21年度)
			コミュニティセンター施設の利用回数 (回/月)	0 (H17年度) → 130 (H21年度)
			避難所収容人員増加率 (%)	100 (H17年度) → 110 (H21年度)

